

# その軌跡とかつての現役時代を聞く

# オールスターゲーム 開催へ



麻布スペースサービス  
代表取締役  
渡邊 春吉氏

17校から成る大学不動産連盟。その1組織のなかに「URELベースボールリーグ」(以下、UBBL)はある。2012年3月に「野球を通じて懇親を深め、深めた絆で相互のビジネスに活かす」ことを目的に発足。今年で設立から5年、発足当初6チームだったが現在では11のチームが参加、野球未経験者から経験者まで総勢450名以上、年齢層は20歳代から70歳代までが登録する一大組織へと成長を遂げた。9月上旬、明治神宮球場で5周年を記念してオールスターゲームを開催する。2014年5月に初開催しての2回目だ。今回、大学野球を経験し現在も第一線でプレーするキーマン、そして大学時代にプレーする選手たちを観て応援し熱狂し、今はUBBLでプレーする業界人たちに当時の思い、またその意義を聞いた。

## 想像以上の活躍をUBBLで 野球を通じてビジネスに繋げる

●5周年を迎えられて、ひとつ節目を迎えられたものだと思います。UBBLチェアマンの吉田伸成氏の言葉を借りれば「発足当初を思えば、5周年を迎えるまで続けることができたのはすごいことだと思います。」という言葉があります。

井上 UBBL発足当初のメンバーではないが、実際にどのように思っていますか。

黒木 当初、野球を始めた方にとって感慨深いものがあると思います。実際にどのように思っていますか。

井上 UBBL発足当初のメンバーではないが、実際にどのように思っていますか。

## 明治神宮球場に憧れを抱き続けた男たちの思い 「大学野球部に入るのは勇気がいる」

今回の座談会では、大学野球部に所属した各氏のほかに、大学入学まで学校や草野球、あるいは未経験ながらも憧れを抱きながら、高校時代まではプロ野球部に入らなかったが、大学時代に野球部に入部し、かつレギュラーを取れるまでプレーする関係者も参加した。彼らの経歴は様々で、高校時代まではプロ野球部に入らなかったが、大学時代に野球部に入部し、かつレギュラーを取れるまでプレーする関係者も参加した。彼らの経歴は様々で、高校時代まではプロ野球部に入らなかったが、大学時代に野球部に入部し、かつレギュラーを取れるまでプレーする関係者も参加した。

その後、法政大学の建設・不動産法が結成された。そのときに、時間通りに集まる

●実際、大学時代も野球部に入部されてプレーをされていたとのことですが、当時を振り返っていかがでしょうか。

渡邊 あまり現役のことを覚えていないのですが(笑)。ポジションは外野でした。はじめて試合に出場したのは3年の春でした。代打が多かったのですが、その1打席が私にとつては勝負であることが多かったです。そのためベンチ裏で何十回

●現役時代はバッテリーでアピールされていたのですか。

黒木 現役の頃はショートを専門に内野を守っていました。4年秋に諸事情で出れなくなり、序盤に勝ち点を二つ落としてしまい、優勝が決定し、胴上げが消えました。キャプテンではありませんでした。

●スタメンを剥奪され

●スタメンを剥奪され

●スタメンを剥奪され

●スタメンを剥奪され

## 私たちはURELベースボールリーグを応援しています

クローバーランド株式会社、しばつじ事務所、リーディングプロパティ株式会社、株式会社アシュランス、株式会社日本不動産販売、株式会社ケイ・エムコーポレーション、株式会社ドリームプランニング、株式会社ナミキ、株式会社フィルツ都市建築設計、京都あおしだ、麻布スペースサービス株式会社、輸入建材は、www.tak-co.com、大谷秀文、藤村茂、西田茂登美、伊達孝紀、石川輝(敬称略)

●スタメンを剥奪され